

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040010

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4	簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17	上・下水道の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	水道の安定供給	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	簡易水道事業量水器更新事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関係課		#N/A	
事業指標	計量法に基づく料金の適正化を図る。		関係課		#N/A	
事業目標	検定満了量水器更新台数		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有		
住民協働			関係個別計画名			

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	計量法第9条に基づく、量水器検定満了期間8年での更新が義務付けられており、使用水量に対する料金徴収を適正に行うための事業であります。	更新対象量水器 Φ13～50mm 316台 ・材料費 6,345千円 ・工事請負費 6,636千円 合計 12,981千円	更新対象量水器 Φ13～100mm 314台 ・材料費 6,472千円 ・工事請負費 7,460千円 合計 13,932千円	更新対象量水器 Φ13～40mm 315台 ・材料費 6,699千円 ・工事請負費 7,858千円 合計 14,557千円	更新対象量水器 Φ13～75mm 328台 ・材料費 7,851千円 ・工事請負費 8,800千円 合計 16,651千円	更新対象量水器 Φ13～75mm 328台 ・材料費 6,960千円 ・工事請負費 8,182千円 合計 15,142千円	
	事業費(千円)	73,263	12,981	13,932	14,557	16,651	15,142
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	73,263	12,981	13,932	14,557	16,651	15,142	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	68,804	12,471	13,435	12,550	15,746	14,602
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	68,804	12,471	13,435	12,550	15,746	14,602	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 更新対象量水器 Φ13～50mm 307台 ・材料費 6,013千円 ・工事請負費 6,458千円 合計 12,471千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 更新対象量水器 Φ13～100mm 309台 ・材料費 6,329千円 ・工事請負費 7,106千円 合計 13,435千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 更新対象量水器 Φ13～100mm 282台 ・材料費 5,638千円 ・工事請負費 6,912千円 合計 12,550千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 更新対象量水器 Φ13～75mm 324台 ・材料費 7,225千円 ・工事請負費 8,521千円 合計 15,746千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 更新対象量水器 Φ13～75mm 328台 ・材料費 6,664千円 ・工事請負費 7,938千円 合計 14,602千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	316台	314台	315台	328台	328台
		年度達成率		96%	96%	86%	95%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		17%	35%	52%	74%
	備考欄						

事業名	簡易水道事業量水器更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	量水器更新台数	
【抱える課題やニーズは】	適正な使用水量の把握	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	計量法に基づいた適正な更新	① 更新量水器/更新量水器実績	目標年度 目標値	平成29年度 328台
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な使用水量の把握		実績値	328台
			達成度	100.0%
		②	目標年度 目標値	平成29年度 〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による物品購入と工事の実施	入札により民間業者発注し、量水器更新事業を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	計量法に基づいて量水器を更新することは、適正な使用水量を把握するうえで、町が担う必要のある事業である。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	検定満了期間に合わせた量水器の更新により、適正な使用水量が把握できた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	量水器の更新で使用水量が把握できたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計量法に基づいた量水器更新は、今後も計画通りに事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
計量法に基づいた量水器更新は、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止